

いつも、インシデント報告ありがとうございます

2019.06.05

京大病院医療安全情報114

【入院時嚥下スクリーニング】

いつも入院時嚥下スクリーニングにご協力頂きましてありがとうございます。

全病棟で入院時嚥下スクリーニングを導入して約2年が経ちました。以前は年に数件、窒息のインシデント報告がありましたが、2018年1月以降は報告がありません。おそらく、スクリーニングの効果があったものと考えています。

引き続き、どうぞ宜しくお願い致します。

今回、部署よりご意見頂いた内容を嚥下サポートチームで検討し、嚥下スクリーニングシートを改訂することとなりました。



1か月以内に再入院される患者さんのスクリーニングを行う必要があるの？



お答えします！

前回入院時と嚥下機能の変化がないことを本人またはご家族へ確認し、変化がなければ省略しても良いです。

入院時嚥下スクリーニング除外患者は下記に変更します。

- ・1か月以内の再入院患者で前回入院時と変化がない方
- ・小児、産科入院
- ・短期入院（概ね2泊3日まで）

これに伴い、テンプレートを**6月30日**から切り替えます。

記録>SOAP画面>O>右クリック>テンプレート>看護部>嚥下テンプレートVer2

インシデント報告に基づいた対策です

京大病院医療安全情報114

嚥下スクリーニングシートを改訂します

※ 2019年6月30日リリース予定

ポイント①

回答不能・前回入院時と変化なしというチェック項目を新たに設けました。
変化がある場合は、フローチャートに沿ってスクリーニングを行ってください。

テンプレート名 嚥下スクリーニングシート

EAT-10 : 点

回答不能

前回入院時と嚥下機能変化なし(※ただし1ヶ月以内の定期入院のみ)

※EAT-10:3点以上または回答不能の場合は、フローチャートに従って「水飲みテスト」を実施

・MWST(改訂水飲みテスト) : 点

・30秒水飲みテスト(プロフィール) : 01(5秒以内) 01(5秒以上) 02 03 04 05

・STオーダー : なし あり

(←チェックはせず、参考資料として使用して下さい)

●MWST(改訂水飲みテスト)の手順・評価方法

・実施方法

- ①実施前に発声させて声質を確認しておく
- ②冷水3mlを口腔底に注ぎ、嚥下を命じる
- ③嚥下したあとに再度発声させて、湿性嚙声を確認する
- ④嚥下後反復嚥下を2回行わせる

・実施判定基準

- 1点 嚥下なし、むせる and or 呼吸切迫
- 2点 嚥下あり、呼吸切迫(不顕性誤嚥の疑い)
- 3点 嚥下あり、呼吸良好、むせる and/or 湿性嚙声
- 4点 嚥下あり、呼吸良好、むせない
- 5点 「4点」に加え、反復嚥下が30秒以内に2回可能

※評価基準が「4点」以上なら最大2回施行繰り返し、最も悪い場合を評点とする

(←チェックはせず、参考資料として使用して下さい)

●30秒水飲みテストの手順・評価基準

OK キャンセル

ポイント②

参考資料として、MWST、30ml水飲みテストの評価方法を掲載しました。
チェックボックスの表示がありますが、チェックは不要です。

※ チェックボックスはシステム上外せません。
間違えてチェックしても記録に残るだけで特に問題はありません。